

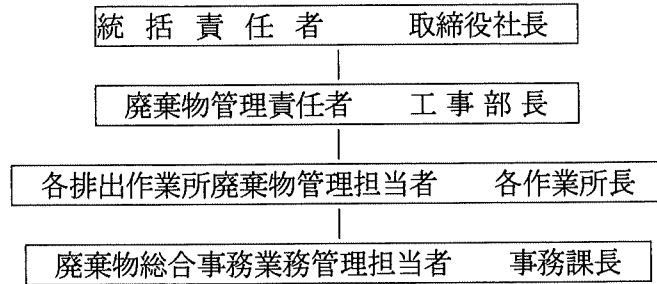
産業廃棄物処理計画書	
令和 6年 6月 日	
都道府県知事 達増 拓也 殿	
提出者 株式会社阿部総業 住 所 岩手県奥州市胆沢若柳字愛宕796番地 氏 名 代表取締役 千田 三男 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0197-46-5155	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社阿部総業
事業場の所在地	岩手県奥州市胆沢若柳字愛宕796番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	〔総合工事業〕
②事業の規模	元請完成工事高 75百万円
③従業員数	19名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートがら→中間処理業者委託(破碎)→再生路盤材 アスファルトがら→中間処理業者委託(破碎)→合材原料 その他がれき類→中間処理業者委託(破碎)→再生路床材 がらす・陶磁器くず→中間処理業者委託(破碎)→再生骨材 がらす・陶磁器くず→中間処理業者委託(破碎)→破碎→最終処分場(埋立) 廃プラスチック類→中間処理業者委託(破碎)→燃料・プラ原料→二次処理(埋立) 廃蛍光管→中間処理業者委託(水銀を回収破碎)→断熱材原料 紙くず→中間処理業者委託(破碎)→燃料 木くず→中間処理業者委託(破碎)→燃料・ボード原料 繊維くず→中間処理業者委託(破碎)→燃料 石綿含有、廃石膏ボード・がれき類→最終処分場委託(埋立)



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		別紙のとおり（様式2面）
	産業廃棄物の種類	別紙2面全体とおり	
	排出量	1235.897 t	
	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は、従前どおり、官公庁発注の土木工事、民間発注の木造家屋解体工事から発生する廃棄物の主たる排出要因となった。 ・結果として、総排出数量は前年度の計画より1.2倍の排出となった。 ・排出に際し品目ごとに分別し、再生利用業者に処理委託して産業廃棄物の排出抑制に努めた。 ・最終埋立て処分する産業廃棄物を4.5%以下に目標たて実施した。 		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2面全体とおり	
	排出量	1122.300 t	
	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の計画の総排出量は、令和5年度実績数量に令和6年度の元請け予定工事を見込んだ数量で令和5年度排出量実績の90%低減の1122.300tで計画した。 ・今年度の総排出が計画された産業廃棄物の95%を再生利用に目標を掲げ、総産業廃棄物の5%以下を最終処分埋立て量とする。 ・環境管理計画に産業廃棄物の3Rを掲げ産業廃棄物の排出削減に努める。 		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 産業廃棄物を収集、分別し、再生可能な産業廃棄物を分別して95%以上を再生可能な産業廃棄物として中間処理業者に委託している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリートがら、木くず、アスコンがら、ガラス・陶磁器くず・その他がれき類、紙くず、繊維くずについては全て再生利用可能な中間処理委託している。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 なし		
	産業廃棄物の種類	別紙2面全体とおりの	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	（これまでに実施した取組） 自ら再生利用を行った産業廃棄物なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2面全体とおりの	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	
	（今後実施する予定の取組） 自ら再生利用を行う産業廃棄物の予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 なし		
	産業廃棄物の種類	別紙2面全体とおりの	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
	（これまでに実施した取組） 自ら熱回収を行った産業廃棄物及び自ら中間処理した産業廃棄物なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2面全体とおりの	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
	（今後実施する予定の取組） 自ら熱回収を行った産業廃棄物及び自ら中間処理した産業廃棄物計画なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】なし		
	産業廃棄物の種類	別紙2面全体とおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分、海洋投入処分なし		
② 計画	【目標】なし		
	産業廃棄物の種類	別紙2面全体とおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 自ら埋立処分、海洋投入処分の計画なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】多量報告書様式2面の通り		
	産業廃棄物の種類	別紙2面全体とおり	
	全処理委託量	1235.897 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	13.062 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1176.527 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 品目毎に分別し、産業廃棄物が可能な限り再生利用に中間処理できる中間処理業者を選別して処理委託している		

② 計画	【目標】【別紙】今年度の計画のとおり		
	産業廃棄物の種類	別紙2面全体とおり	
	全 処 理 委 託 量	1122.300t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	13.600 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1069.250 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>※分別収集を強化してリデュース・リユース・リサイクルの実施</p> <p>※産業廃棄物の最終埋立処分量を産業廃棄物全排出量の5%以下を維持して再生可能中間処理施設に処理委託する。</p> <p>※産業廃棄物が発生した場合分別、収集を実行して再生可能な中間処理施設に業務委託して、中間処理業者が再生利用業者や住民に供給できるようにする。</p> <p>※<u>当社が取引している産業廃棄物処分業者が優良認定処理業者に認定を受ける事を推奨して、認定されたさいには当社から排出される産業廃棄物を可能な限り排出することにした。</u></p>		
※事務処理欄			

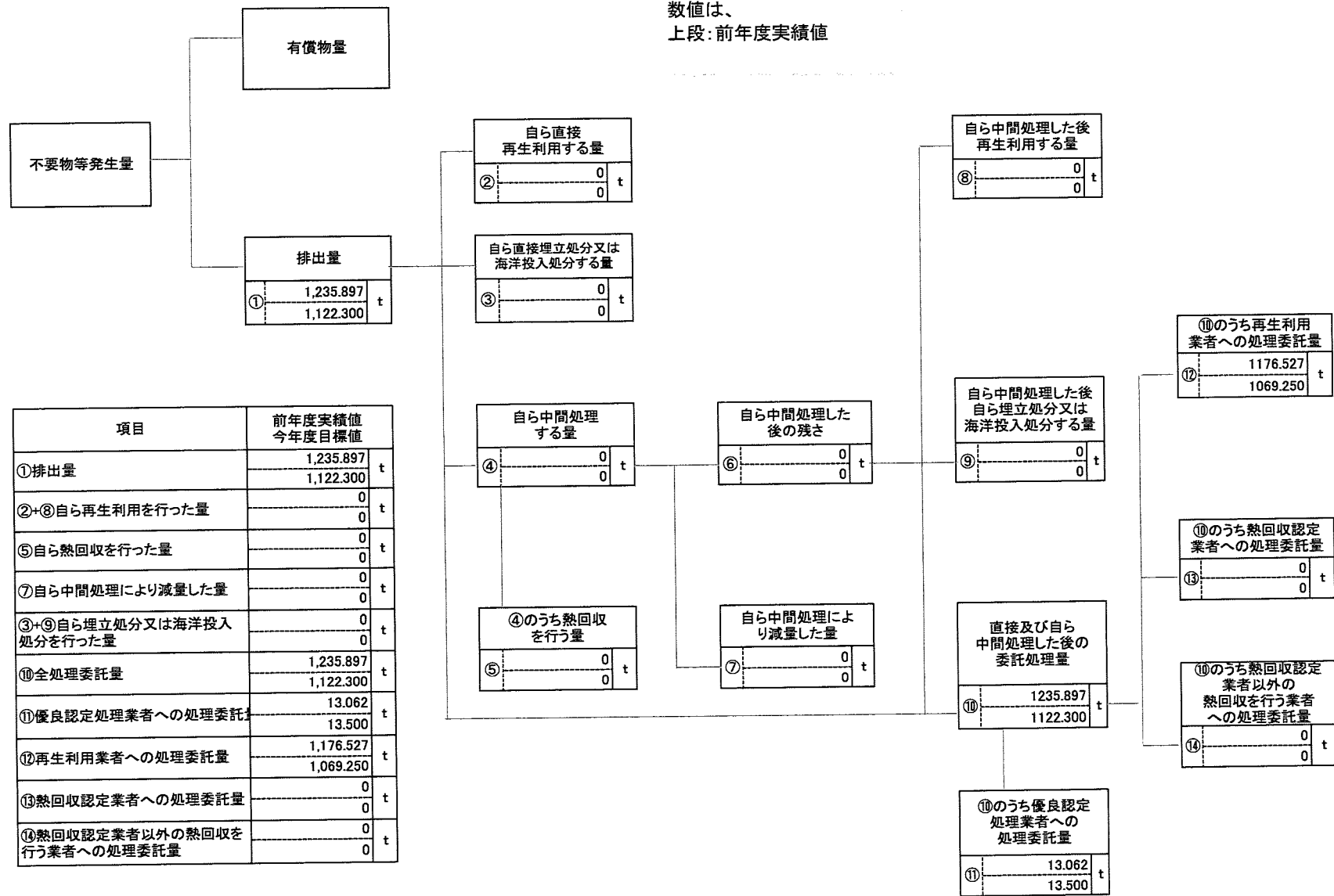
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 全体)

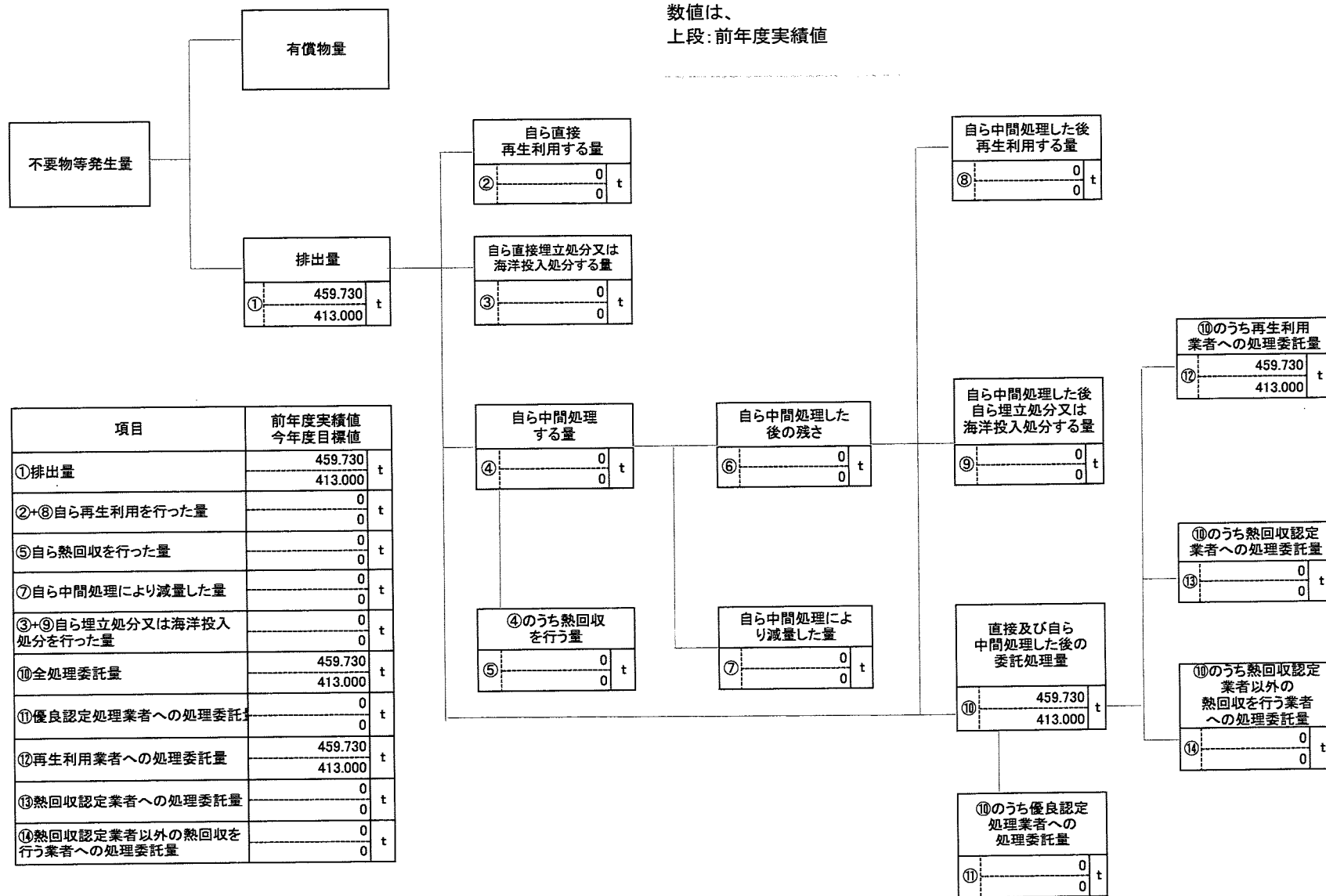
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)

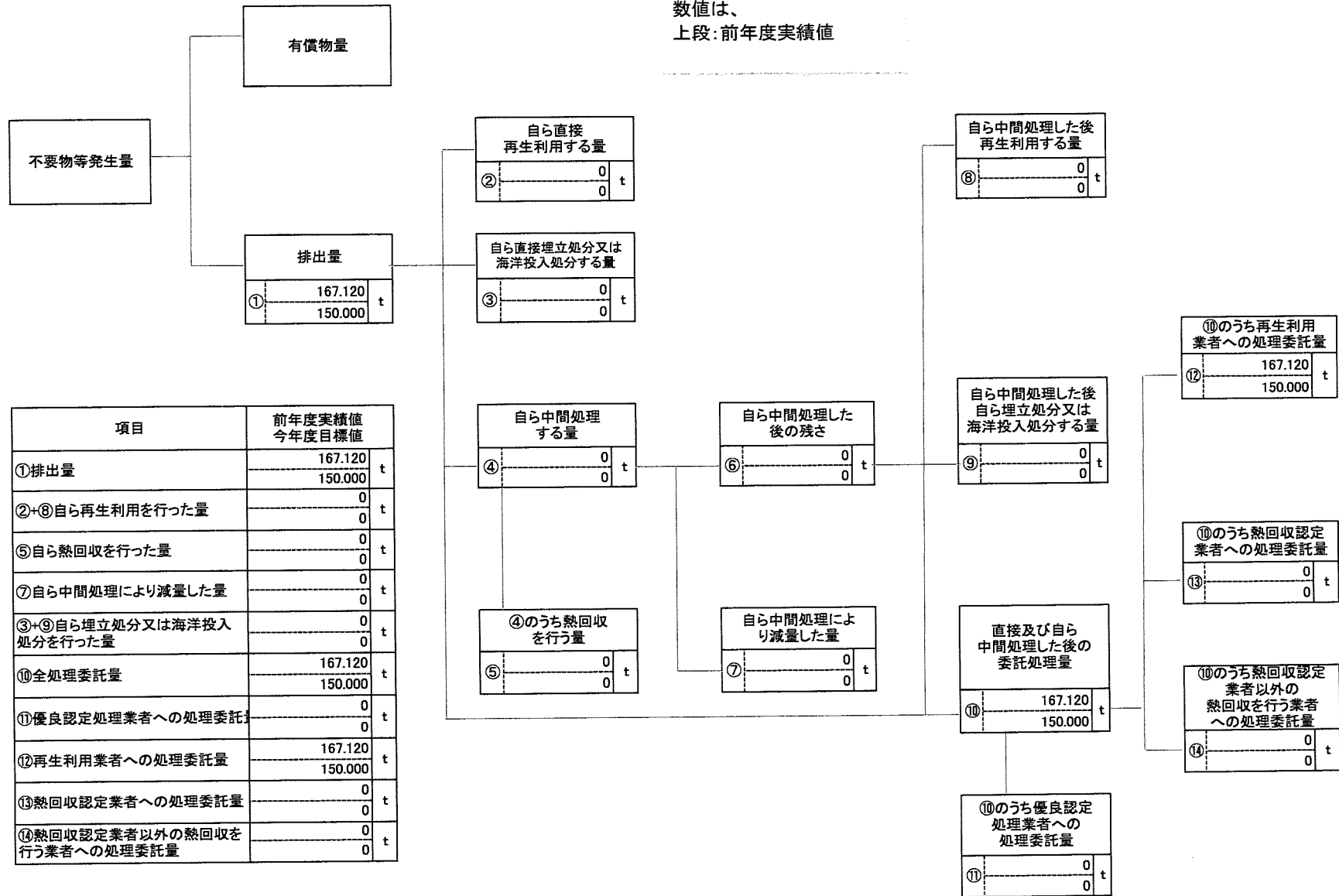
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度計画値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: アスファルトがら)

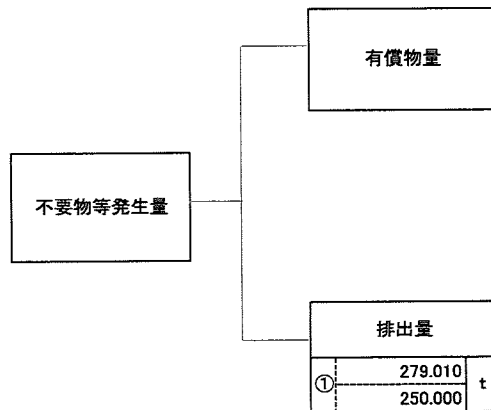
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度計画値



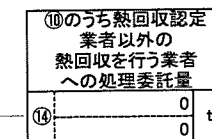
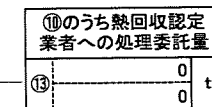
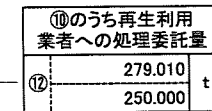
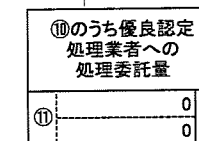
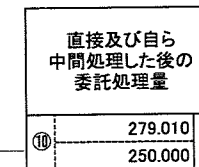
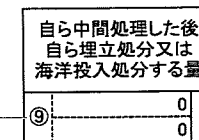
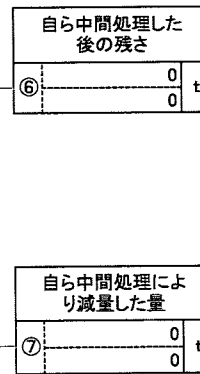
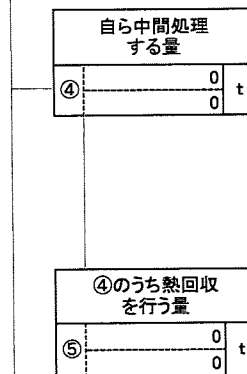
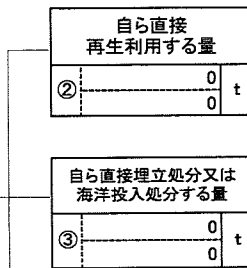
【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: その他がれき類)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度計画値



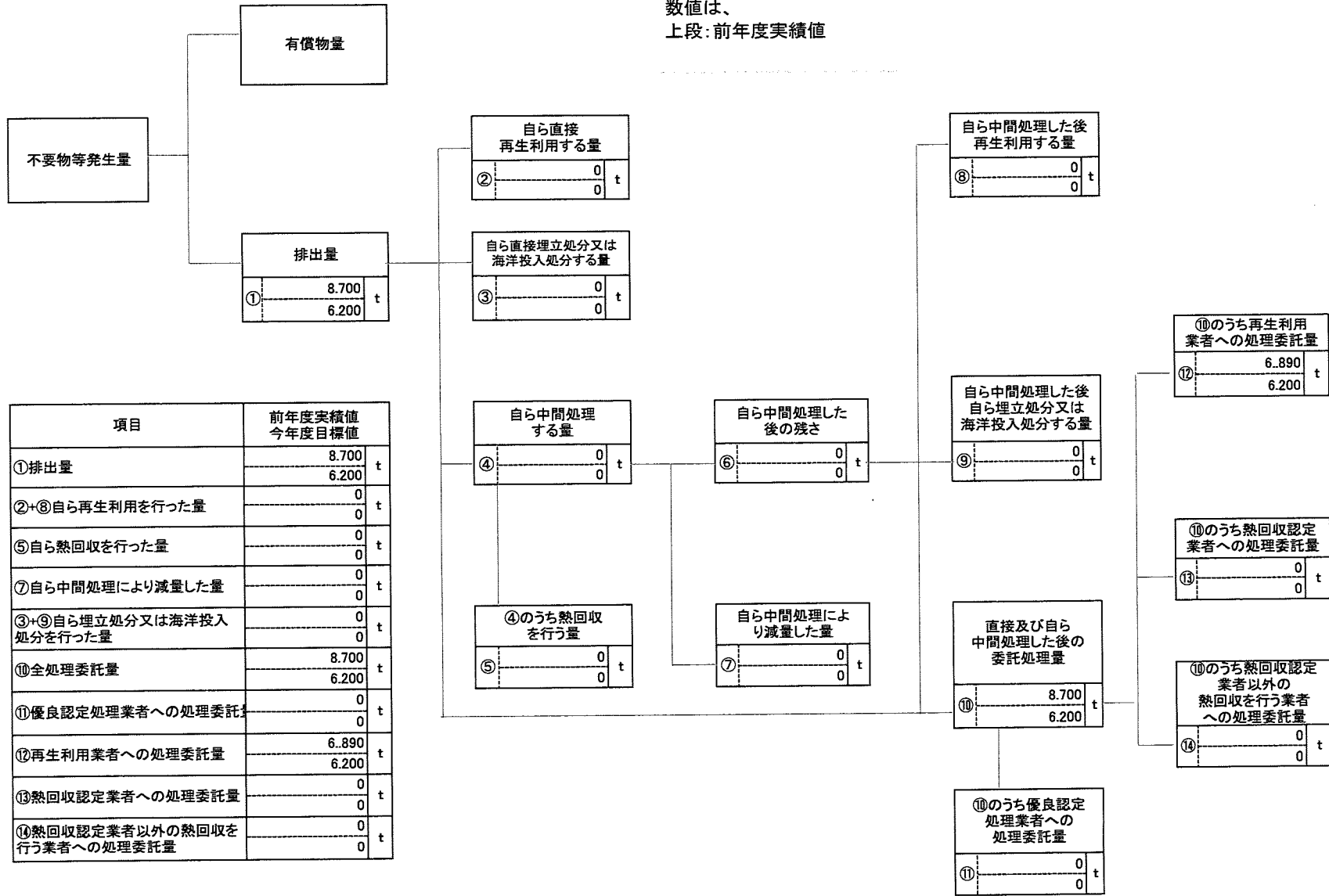
項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	279.010	250.000
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0
⑩全処理委託量	279.010	250.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	0
⑫再生利用業者への処理委託量	279.010	250.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: ガラス・陶磁器くず)

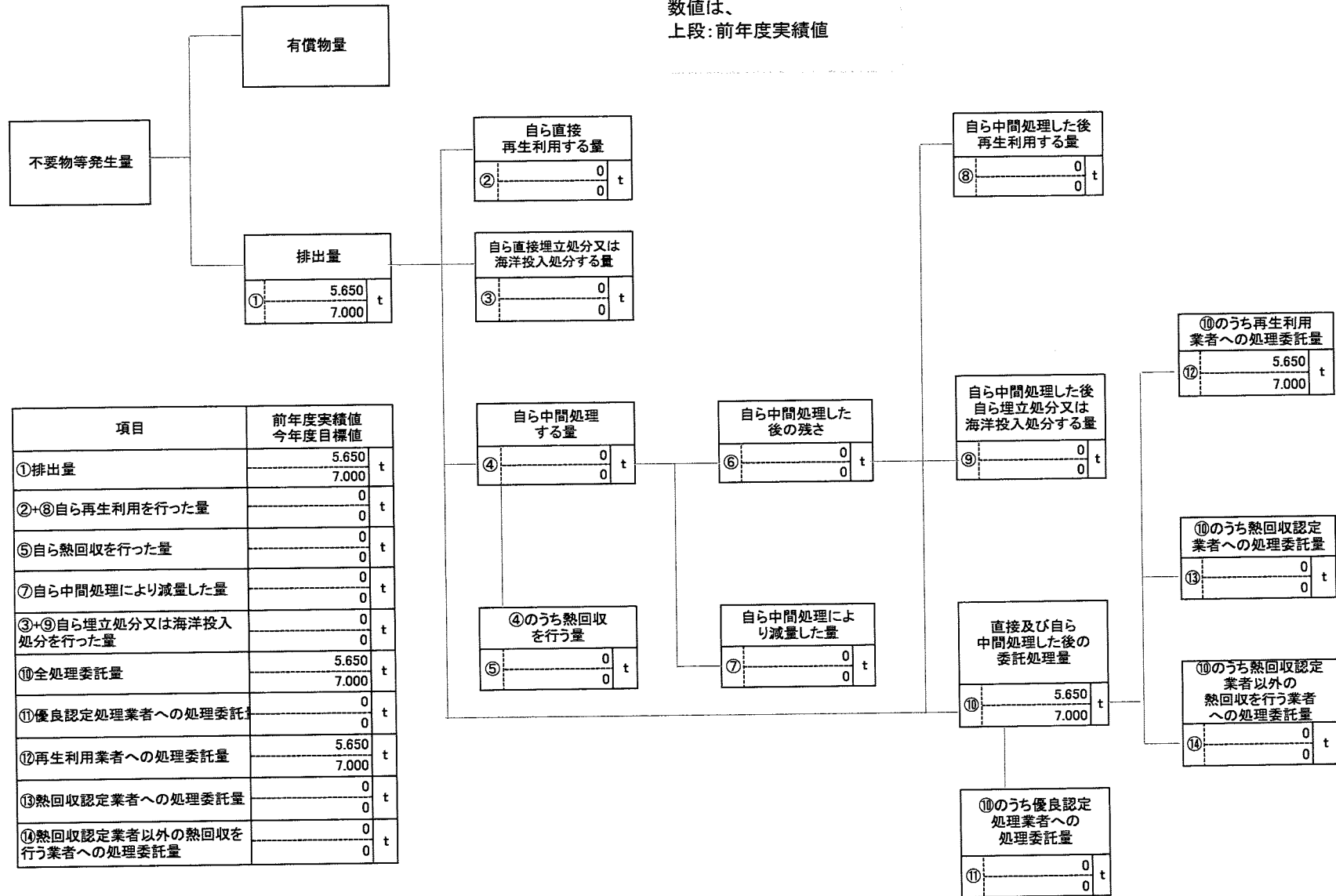
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度計画値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

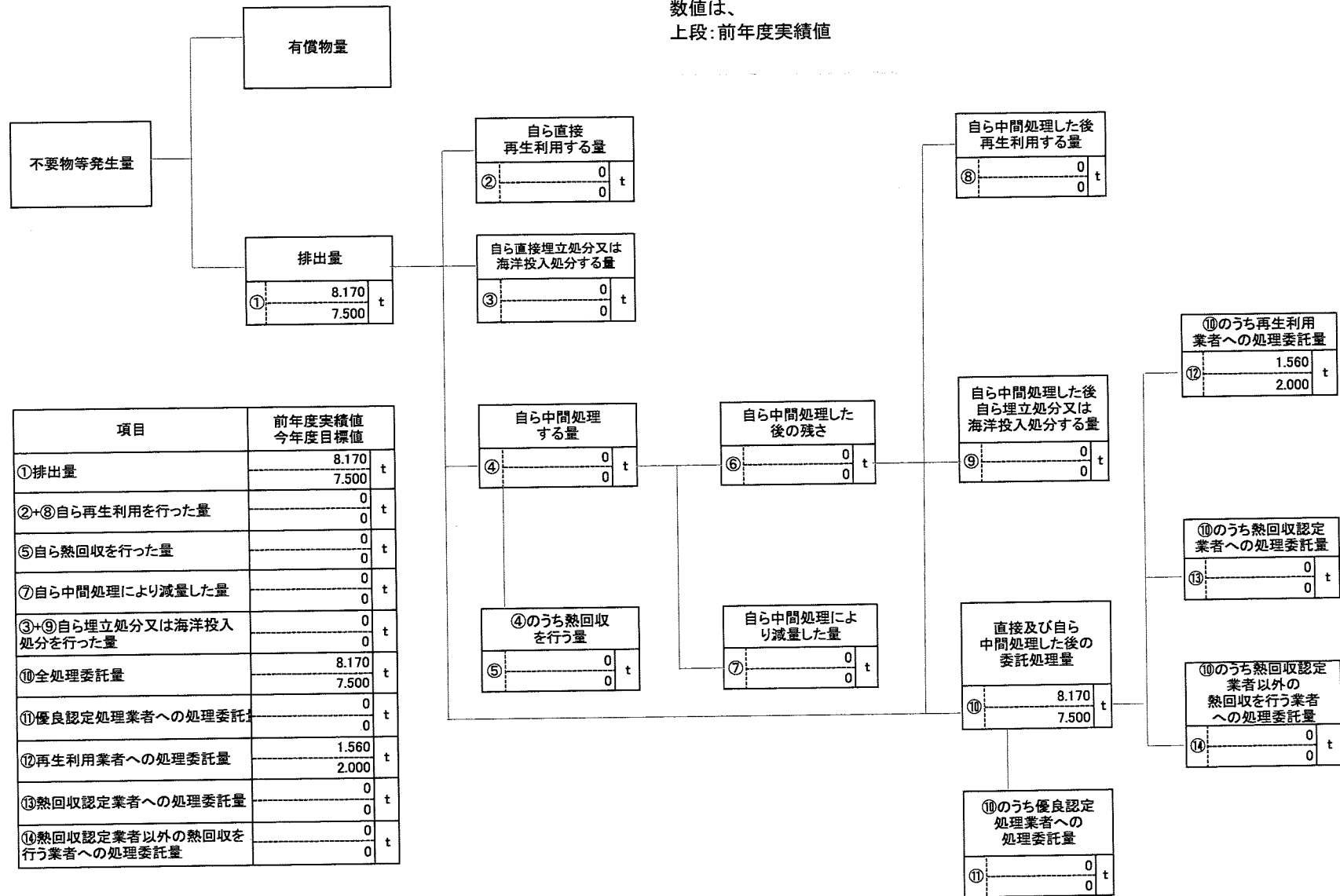
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

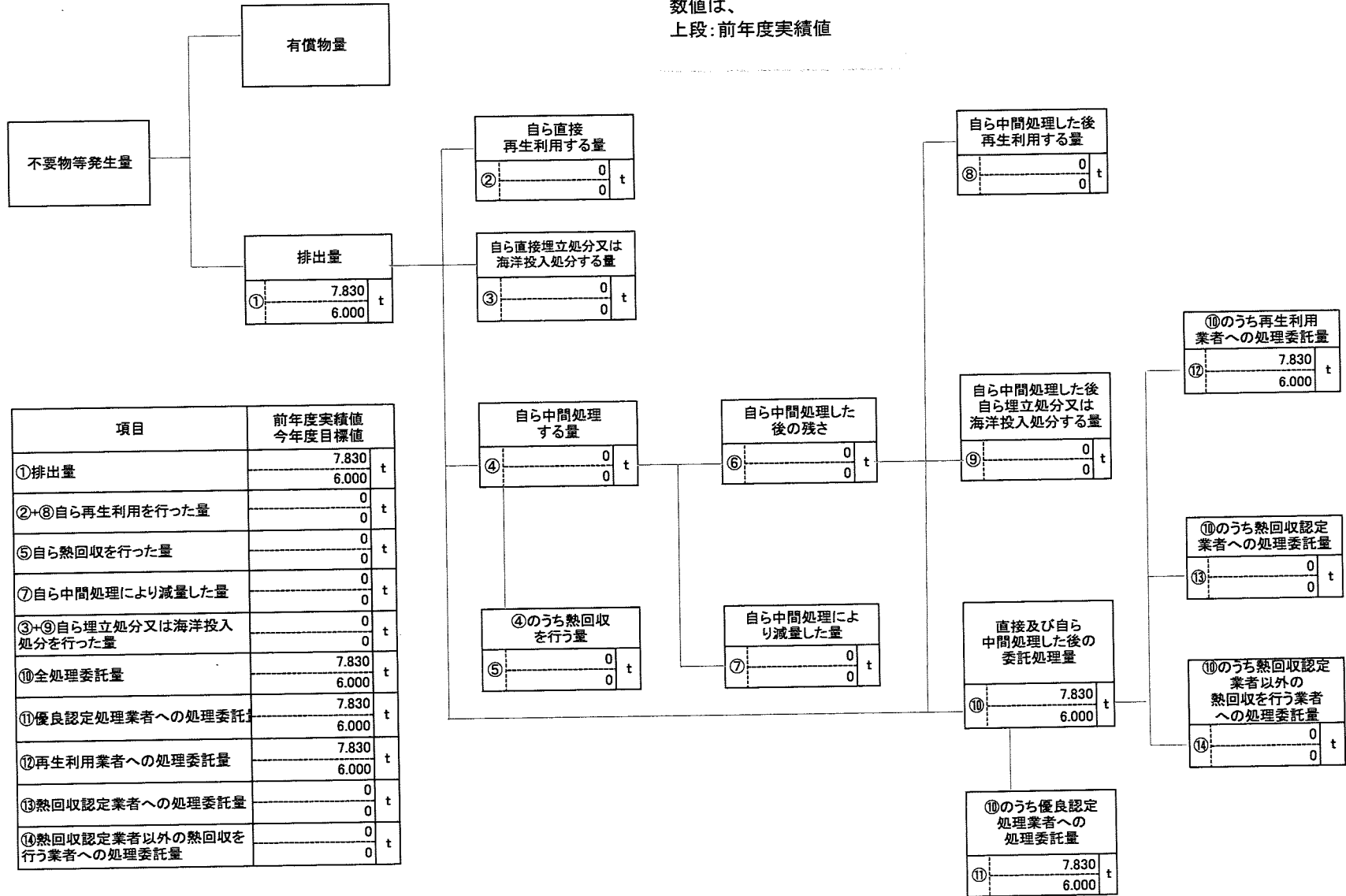
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度計画値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

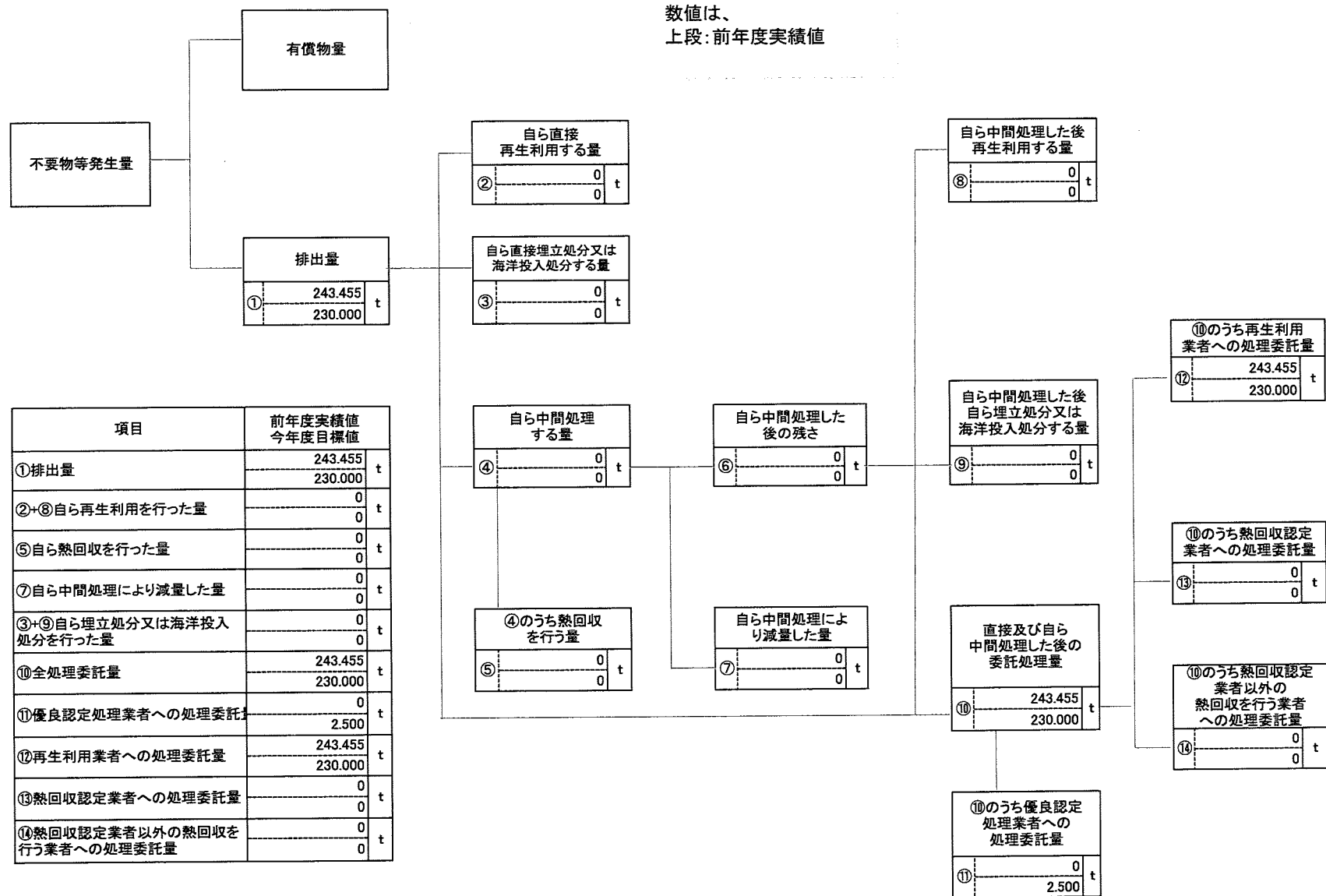
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 木くず)

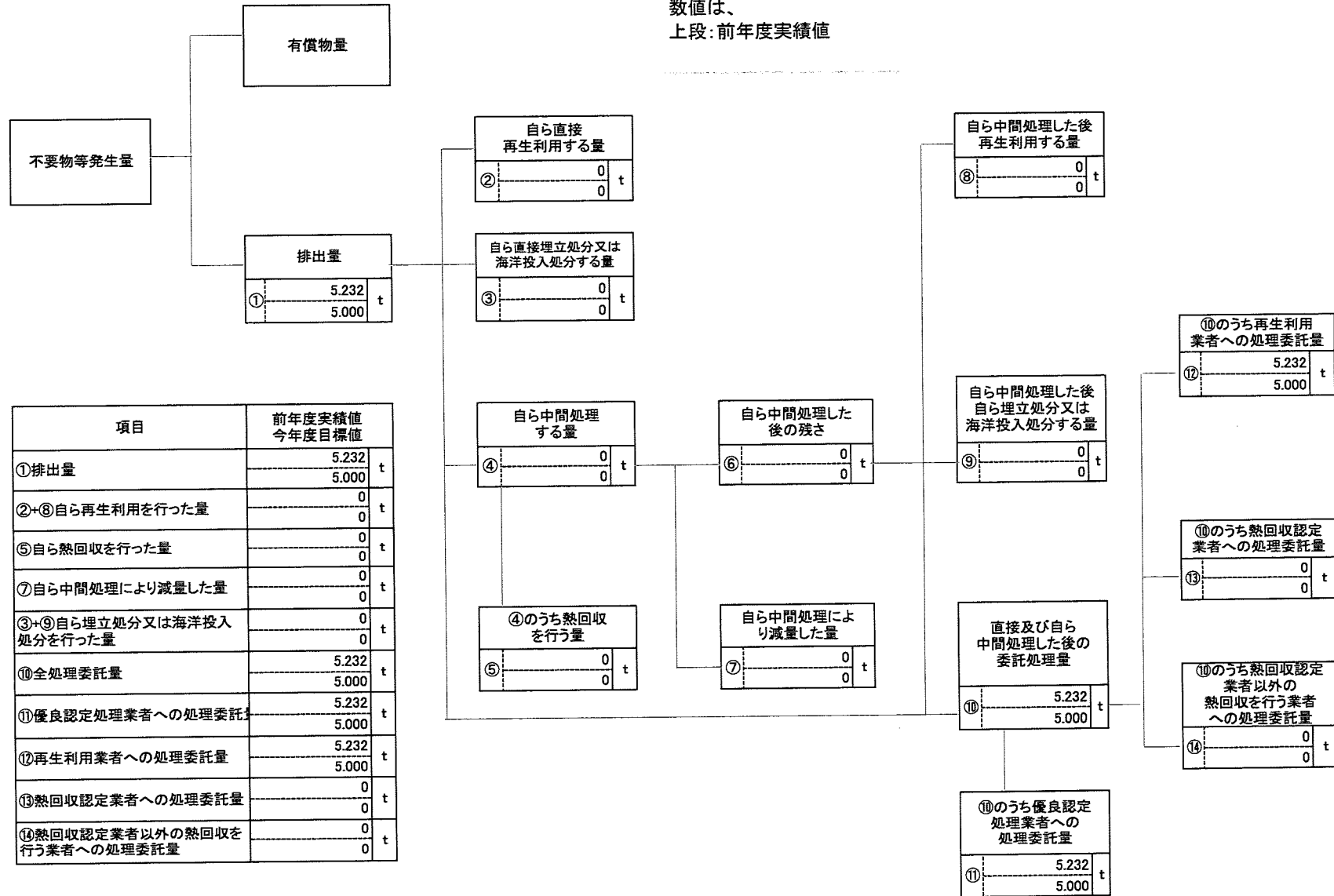
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

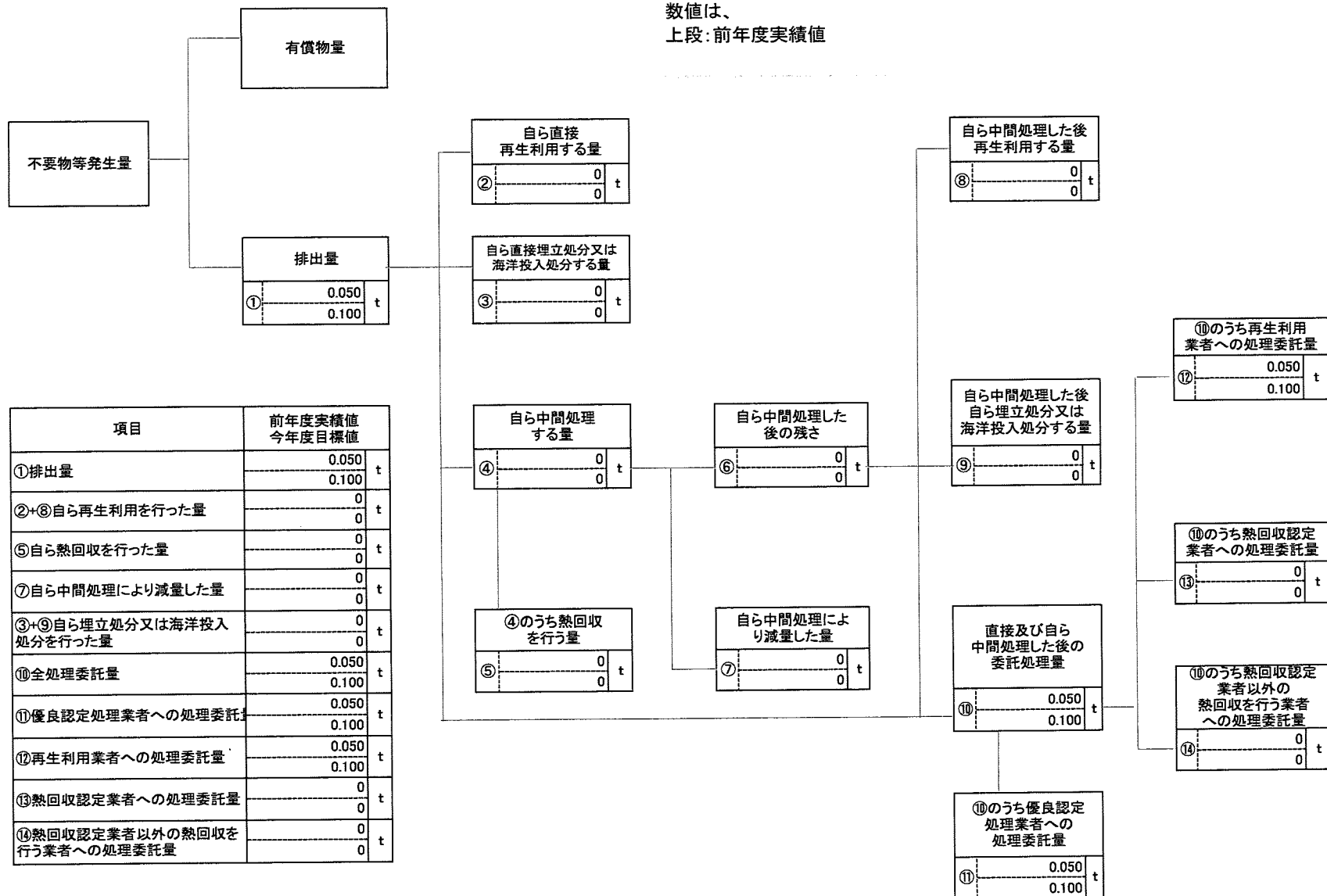
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃水銀使用製品)

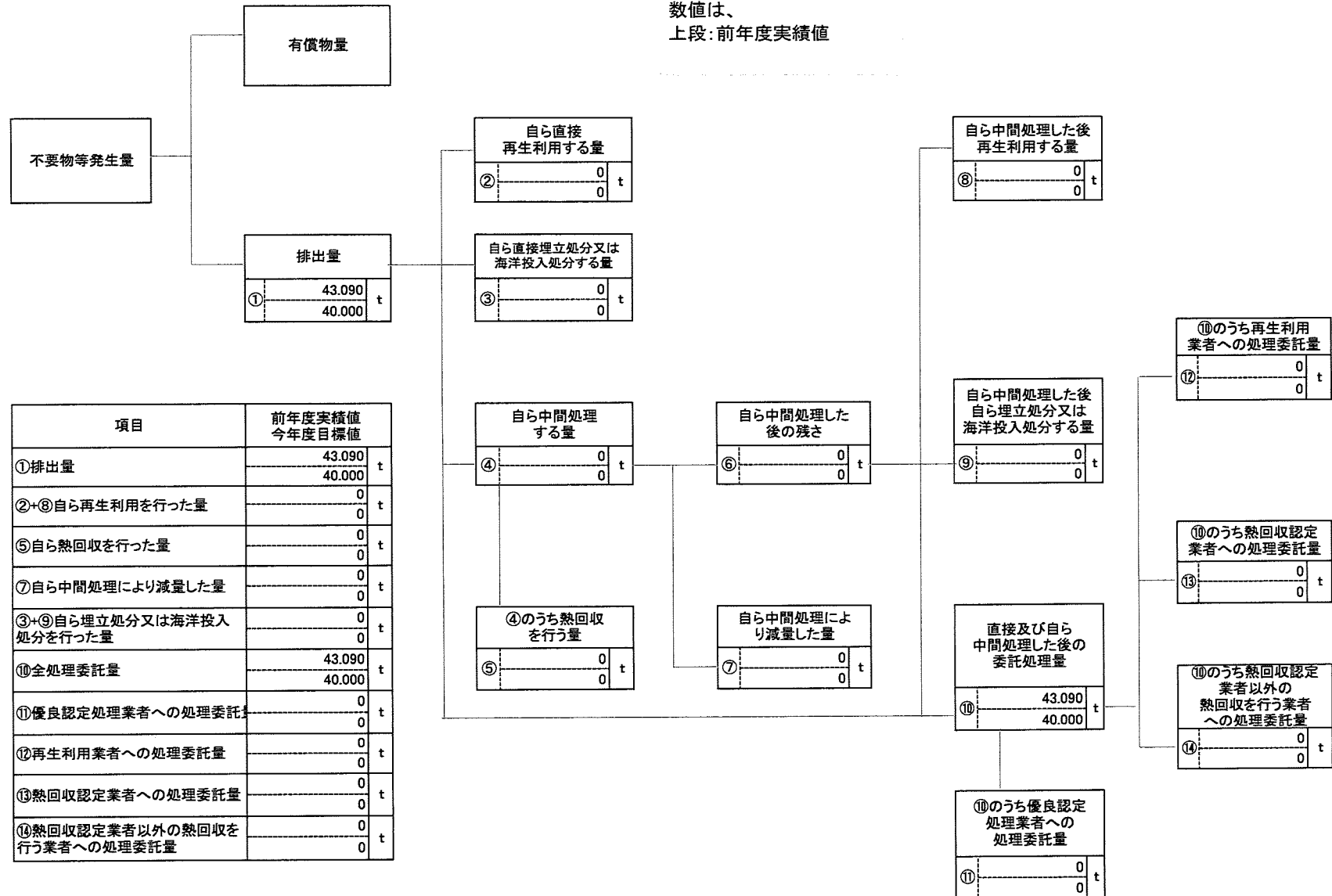
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

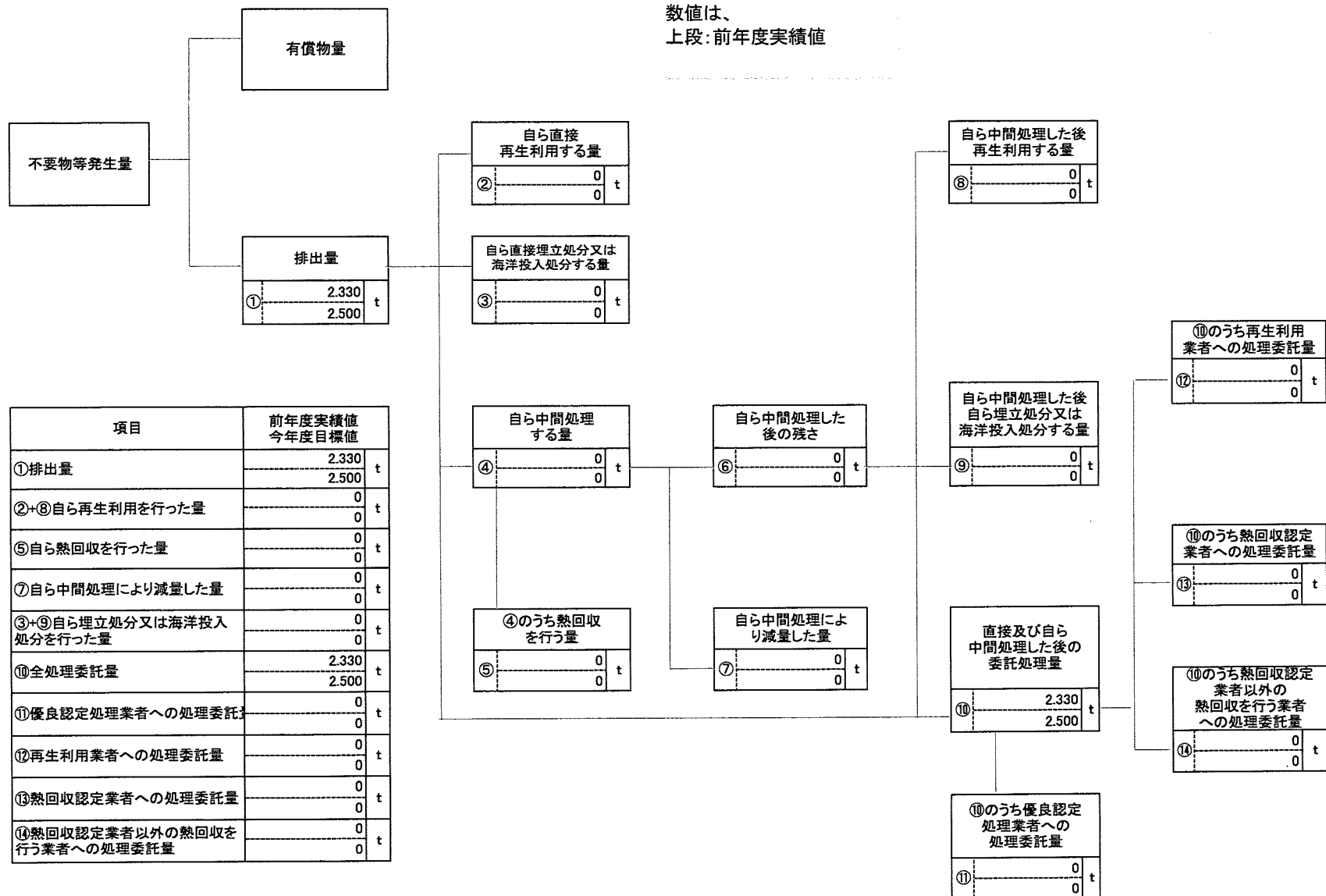
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度計画値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度計画値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: がれき埋立)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

